



駆け出したばかり
自分にできることを精一杯頑張ります



輝くみらい人

平賀基幹支店新屋支店管内
小山内 健太郎 さん (31歳)

今から6年前、以前は県外で働いていたが、実家に帰った時、家の家具などが新しくなったのを見て、「農業は儲かる」と思い就農を決意した小山内さん。現在は地域のミニトマト栽培の先駆者でもある父・悟さんと一緒に作業する。

約10年前に父・悟さんは、農業の主体をりんごからミニトマトへと変更。小山内さんは後継者として携わる。「自分の成果がはっきり分かる。手をかけた分だけ結果が出る。良いものを作って、農業で生計を立てていきたい」と話し、小まめな栽培管理を心掛け、試行錯誤を繰り返す。魅力は自分のペースで作業ができること。とにかく無理をしないことを心掛け、自分の農業を楽しんでいる。

農業を通じて多くの若い生産者同士と交流ができることに喜びを感じる小山内さん。「ミニトマトの勉強会などで他の生産者と繋がりが、交流のきっかけとなる。たまに会った時なども深い話ができて勉強にもなり、人との繋がりが楽しい」と笑顔だ。

◆家族構成：父、母、妻、祖母

◆農業歴：6年

◆作物：ミニトマト、りんご

◆JAへ一言

農家へ近く寄り添い、責任感を持って仕事をしてほしい。